

B.LEAGUE×まちづくり

おすすめ



- ✓ 市民協働
- ✓ まちづくり
- ✓ 広報

行政課

ベルテックス静岡が主催する、市民・学生・行政が参加する 対話型ワークショップ°

地域の未来像を共に考え、実現に向けたアクションを生み出す

クラブが中間支援的な立場を担い、地域社会と若者を結び市民参画 を促す

静岡の未来を共に描く、
対話と共創のプラットフォーム



VOICE

行ける プロスポーツ 楽しむ 多い 野球 広い 暮らしやすい 美味しい
元気 公園 試合 スポーツ観戦 たのしい 上がる 難しい
過ごせる 作る ベルテックス 盛り上がる 強い
賑わう 笑顔 応援 新しい 応援 バスケットボール 集まる 活気
来やすい 選手 面白い 若い 触れる
アリーナ 子供 熱い 関わる 静岡 場所
チーム 住む なる 楽しい 気軽 楽しめる 行く 見る
老若男女 楽しい 気軽 楽しめる 地域
子ども 楽しい 気軽 楽しめる 開催 明るい
来る スタジアム 大人 遊べる 環境 溢れる 増える 身近
幅広い 過ごしやすい 施設 整う サッカー 住みやすい 行きやすい 知る

THINK SHIZUOKA
ベルテックス静岡



#対話 #ワークショップ° #世代交流 #コミュニティ・交流拠点

Keyword !



ビジョンの 仮説構築

「スポーツで、日本一ワクワクする街へ」静岡の未来を語る

- ・ 世代や所属を超えて「人づくり、街づくり、夢づくり」を意見交換
- ・ 静岡の未来の数字。人口減少に向かう地域課題の共有
- ・ この街のあるべき未来を、みんなで考えるきっかけの場。みんなの声が原動力に



ビジョンの 構築・共有

“THINK SHIZUOKA”発 みんなの声が、やがてこの街を変えていく

- ・ スポーツには、人々の心を動かす力がある
- ・ スポーツには、地域の誇りをひとつにする力がある
- ・ スポーツが持つ熱狂感と一体感を軸に、この街の未来をより良くしたい



PoC

市民参加型のワークショップを通じて、地域課題の共有と解決策の検討

- ・ ワークショップの開催
- ・ 10代から60代、計40名の多世代が参加
- ・ 「健康・食」、「教育」、「エンターテインメント・スポーツ」、「観光」、「仕事」と5つのテーマに沿って意見交換



事業開発

市民が継続的にまちづくりに参画できる仕組みを構築

- ・ 継続的な対話の場の提供
- ・ 富士市立高校や静岡英和学院大学等の学生主催型のワークショップ開催
- ・ 高校生や大学生25人が、静岡市長に提言を報告。若者のまちづくり参画機会に

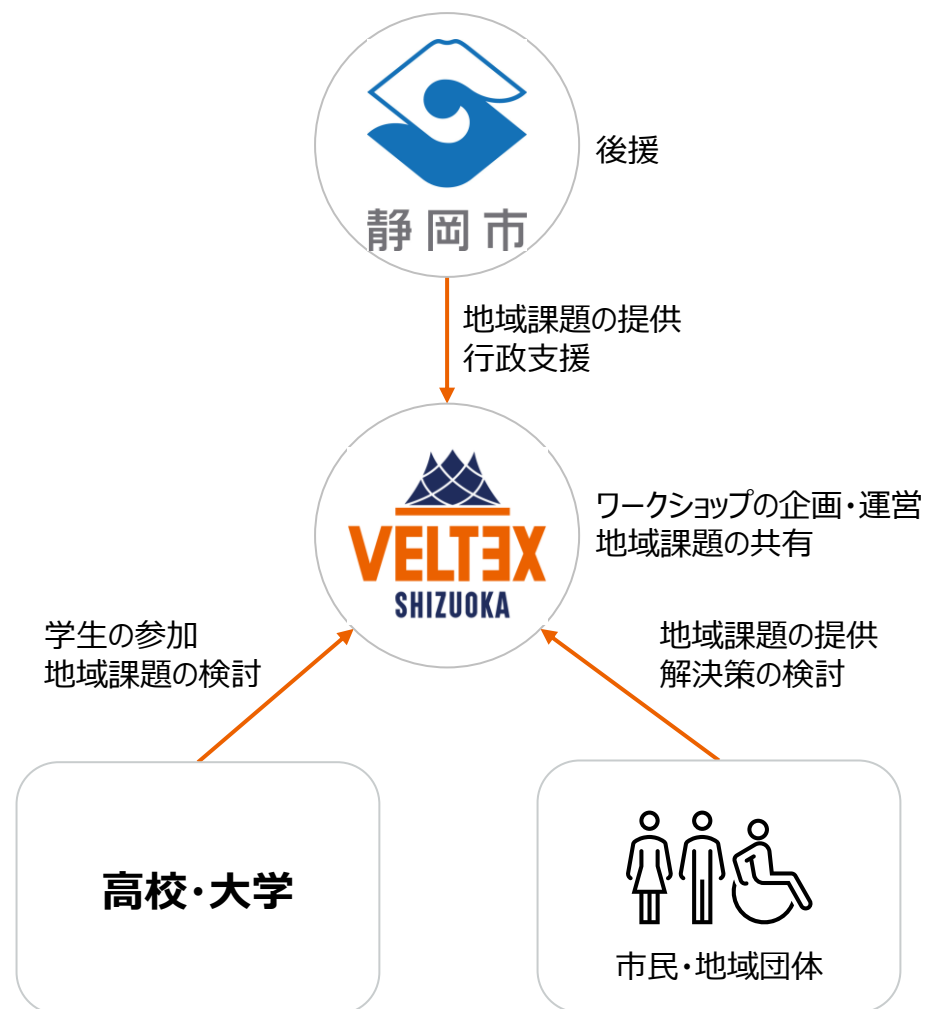


事業育成

市民の主体的な活動を支援し、地域課題の解決に向けた具体的なプロジェクトを展開

- ・ 市民提案型プロジェクトの支援
- ・ 成果の可視化と共有
- ・ ネットワークの拡大

実施スキーム



実施概要

- 場所：静岡市内（例：グランシップ）
- 対象：静岡市民、学生、地域団体
- 内容：ワークショップ開催、アンケート調査、地域課題の共有と解決策の検討



Shape the future
with confidence

EYストラテジー・アンド・コンサルティング
株式会社はB.LEAGUE×まちづくり
委員会の事務局業務および事例集
制作業務の一部をご支援しました。



特徴

地域共創を支える中間支援機能として、
スポーツクラブが多様な立場の市民と未来を語り合う場を提供

「対話と共創」を重視。スポーツクラブ主導の 社会課題対話 プラットフォーム

ベルテックス静岡が、地域課題を共に考えるファシリテーターとして場づくり開かれた対話機会が、市民・行政・企業を巻き込み、地域に新たな希望を生み出す

学生・若者の参画を重視した設計

富士市立高等学校や静岡英和学院大学とも連携。学生を積極的にワークショップの参加者として迎え入れる体制を構築から、若者視点の提案と次世代のまちづくり担い手育成にもつながっている

「求心力」を活かした幅広い巻き込み

静岡市教育委員会や静岡商工会議所、静岡青年会議所の後援を受けるなど、地域と連携した共創モデルを構築
参加者の年齢層も10代から60代と、幅広い世代の意見交換が実現

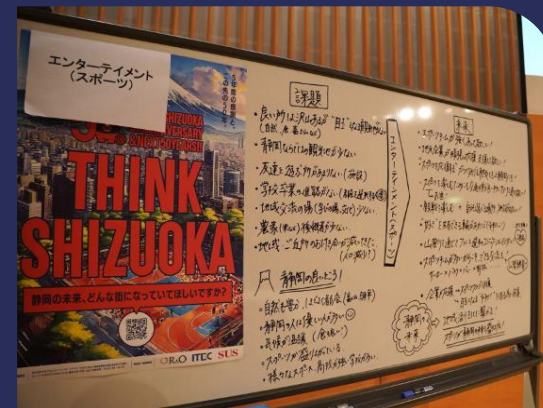
実現までの課題・失敗談

1. チャレンジングな試み

まちづくり事業に取り組む初の試みだったので、アウトプットイメージ共有化など事業化に至るまで時間を要した

2. 公共を支える企業が連携

協力者や協力企業を募るため各ステークホルダーに細かな説明を行った。多くの地元企業の協力を得たことで事業推進が加速した



B.CLUBが発揮するチカラ

ヒトを動かすチカラ

市民、学生、行政など多様な主体を、クラブの求心力で募集。多世代の対話を実現

行政と共に突破するチカラ

静岡市とも連携。市長にも提言を報告するなど、市民のまちづくり参画にも貢献した

現時点での成果

1. 多世代の対話が実現

10～60代の計40名が、静岡の未来について意見交換する貴重な場づくりに

2. ワークショップの継続開催

学生がファシリテーターを務める形式での開催など、若者の参画意識が高まった

3. まちづくりの当事者意識

意見交換内容を市長へ提言するなど、まちづくりへの主体的な参画意識が醸成

